



## 5年 集団宿泊教室



【天草青年の家での記念写真】

10月14日(木)、15日(金)に5年生は天草青年の家へ「集団宿泊教室」に行ってきました。昨年度は日帰りでしたが、今年度は例年どおり1泊2日で実施することができました。

1日目は「ペーロン」、「ニュースポーツ」、「ナイトハイク」、2日目は「山登り」、「焼き杉」を体験しました。

ペーロンではみんなで「1・2・3」と声を出し、力を合わせゴールすることができました。山登りでは、急な坂や険しい岩場などがありきつかったけど、互いに励まし合い頂上まで行くことができました。そして「美しい島々の風景」を眺めることができ、最高だったそうです。普段の生活でも、きつくても自分の目標に向かってがんばり、それをやり遂げたときは、大きな喜びを感じることができます。それを、ペーロンや山登りを通して実感することができたと思います。また、学校では体験できないニュースポーツや焼き杉も心に残ったようです。

きつくて「やめたい」と思ったとき、「自分1人ぐらいなら力をぬいても大丈夫」と弱い心が出たとき、友だちと声を掛け合い、励まし合いがんばったそうです。そして、友だちのよさを発見し、学級の絆を深めることができ、貴重な体験となった1泊2日でした。

5年生はこれまで、龍ヶ岳小学校の心臓として、下級生のよき手本となってきました。6年生へ向けて、今後の成長を期待しています。



【ペーロン】



【山登り】

### 集団宿泊教室で学んだこと

私が集団宿泊教室で一番心に残ったことは、ペーロンです。理由はみんなで協力して、息を合わせてこぐことができたからです。みんなで声を出して、「一、二、三」と言って協力しました。

私が集団宿泊教室で、一番学んだことは自然の美しさや環境に感謝する心を持つことです。特に周りの人たちへの感謝の気持ちを持つことを学びました。集団宿泊教室ではたくさんの先生方や職員の方々に手伝っていただいたからです。集団宿泊教室を通して、私は友達の良さに気づきました。布団をしくときにはさつきさんがシーツのしき方を教えてくれて手伝ってくれました。うれしかったです。

私は、これから龍ヶ岳小学校をよくするために、集団宿泊教室で学んだ「五分前行動」や「協力することの大切さ」などを生かしていきたいです。あと五か月で6年生になるのでたくさんのことをがんばっていきたいです。

5年 尾上 加依

# 6年「平和の尊さ」「命の大切さ」を学んだ修学旅行

11月12日(金)、13日(土)1泊2日の長崎・佐賀方面に修学旅行に行ってきました。この2日間、子どもたちは自分の目、耳、心でしっかり感じ、「平和の尊さ」「命の大切さ」を学び、そして、友だちの大切さを感じ、学級の絆を深めることができました。

この修学旅行を通して、6年生は「KKJ」(気づき・考え・実行する)と学級通信のタイトル「K・K・J」(感謝・協力・全力)の力を発揮し、龍ヶ岳小学校の「顔」として行動をしました。私がすごいなと思ったことを4つ紹介します。

- ①修学旅行の期日が決まったとき「ありがとうございます」と感謝の言葉を言えたこと
- ②長崎での班別行動のとき、横断歩道では手を挙げ、止まってくださった車にお礼を言えたこと
- ③平和公園での平和集会。平和への願いを込めた構成詩(右の詩)を、一人一人が大きな声で堂々と言えたこと
- ④吉野ヶ里公園で集合時刻に遅れそうになったとき、人に迷惑をかけないように、集合場所まで走ってきたこと

当たり前なのが当たり前ができることが、すごいことだと思います。

これからの6年生の成長が楽しみです。

## 修学旅行を振り返って

修学旅行を振り返って、まず自分の目標の「平和への思いを深める」を達成することができました。いろいろ見たり、ガイドさんの話を聞いたりしました。その中でも語り部さん(睦門さん)の話が心に残りました。「人は戦争をするためにうまれてきたんじゃない。死ぬために生きているんじゃない。生きるために生きるんだ」と言われました。「今生きていることに感謝しなくちゃいけないし、くじけずに生きていくんだ」と改めて思いました。原爆資料館には、背中が真っ赤に焼けた写真や、真っ黒になった弁当があり、原爆の恐ろしさが分かりました。そして、平和祈念像は大きくて、ちゃんと意味があることが分かりました。

2日目の宇宙科学館はグルグル回るのが楽しかったです。吉野ヶ里遺跡は広くて、社会科で学習した建物がたくさんありました。30分じゃ回りきれないくらい広かったです。

5年生でできなかった分、女子でお泊まりして、テンションが上がりました。ホテルの屋上から見た夜景はとてもきれいでした。

これまで計画をしてくださったみなさん、家族に感謝しています。みんなで行けて、2日間とても楽しかったです。

6年 白濱 いろは 彩華



【平和公園 平和祈念像の前で】

届け！平和への願い

1945年 8月9日 午前11時2分

すみわたった 青空のもと

2発目の原子爆弾が落とされた

ここ 長崎に落とされた

原爆は 70000人の命と 長崎の町を

一瞬で 破壊した

にせものの太陽が 長崎の上空に現れた

ビルや家を丸ごと吹き飛ばす 爆風

後々まで苦しみを与えた放射能

なぎ倒された家や学校

ひどいやけどで 苦しむ人々

水を求めて 歩き回る人々

油の浮いた 水たまりの水を 飲む人

いなくなった家族を 必死に捜す 人々

戦争で残ったものは

怒り・悲しみ・苦しみ

憎しみだけだった

憎しみからは 憎しみしか生まれない

世界中のみんなが

笑顔でいられるために

平和への 願いを 心から 伝えたい

戦争の悲しみ

命の尊さ

ぼくたち わたしたちは

叫び続けたい！

二度と 戦争を くり返してはいけない！！

かけがえのない

地球を！

命を！

守っていかなければならない！！

【構成詩「平和への願い」から】

学校のホームページは毎日更新しています。

集団宿泊教室、修学旅行の様子も掲載していますので、ご覧ください。